

市民の声・願いに応えた予算を！

予算で集中審査

2月20日～3月26日



全議員による予算決算常任委員会

3月12日から16日まで全議員による予算決算常任委員会（委員長・山岡光広議員）が開催され、平成30年度一般会計予算案について集中審査が行われました。日本共産党議員団は、小西・岡田両議員が、新年度予算が市民のいのちと暮らしを守る予算になっているか、市民の切実な願いが盛り込まれているか、無駄な予算はないか、などの視点から積極的に発言しました。16日の最終日には、日本共産党の小西喜代次議員が反対討論を行いました。凜風会の谷永議員、志誠会の小河議員が賛成討論を行い、賛成多数で可決すべきものと決しました。26日の本会議で全議員による採決があります。

市民の目線でチェック

新年度予算案は、予算規模予算総額372億3千万円（前年度比17億7千万円の減）で、第2次総合計画を本格的に具体化したものとなり、特徴として「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」の3つのテーマに基づいた予算とされています。

予算決算常任委員会では、131の主要事業を中心に、新規や拡充について審議が行われました。このなかで、中山間地域再生プロジェクト事業や地域コミュニティ事業推進事業など、これからの地域振興について質問が多く出され、また1億円を目標とする

ふるさと納税推進事業についても、疑問点が多く指摘されました。

子育て・介護の事業では、乳幼児健診が信楽は再開されるも、土山は検討との説明。敬老金支給事業は今後、介護予防という視点で支給の形を検討とのことですが、これは高齢者に対する市の思いが問われる問題と言えます。

コミバス運行事業は、無料乗車券は80歳以上で現状のまま、コミタク（予約型タクシー）の検証を行い今後は増やす方向とのこと。教育では、タブレット端末などICT教育の充実が図られます。

【小西議員の反対討論骨子】

歳入で1億円のふるさと応援寄付金を前年に引き続き計上しているが、予算にこうした不確定な計上には問題がある。歳出において、市民の声が反映する市政運営になっているかという点では、まちづくりコアステーション、旧甲賀病院跡地の利活用では、十分な検討がされずに事業化されている。中学卒業までの医療費無料化や給食費の負担軽減、高齢者の無料乗車券拡充などは、市長の公約からも優先的に予算化されるべきであるが、先送りとなっている。以上、主な問題点をあげたが、予算決算常任委員会で指摘、提案された内容が31年度予算に生かされることを期待するものである。

3つの請願

常任委員会では「不採択」

◆「主要農作物種子法に代わる公共品種を守る新しい法律を求める請願」◆「農業者戸別所得補償制度の復活を求める請願」

いずれも農業者の切実な願いである2つの請願は、19日産業建設常任委員会で審査され、共産のみが賛成で、「不採択とすべき」となりました。岡田議員が賛成討論、種子法は糸目議員、土山議員が反対討論、戸別補償は鶴飼議員、山中修平議員が反対討論を行いました。本会議での全議員の態度が問われます。

市民から提出された3つの請願が、各常任委員会で審査された結果、不採択となりました。

◆「中学校卒業まで医療費無料化の拡充を求める請願」は、19日厚生文教常任委員会で審査されましたが、昨年12月議会で実現求めた公明が反対、新年度予算要望で実現を求めた凜風会も反対しました。賛成は共産・無所属クラブでの賛成少数で「不採択とすべき」となりました。山岡議員が賛成討論を行いました。

要求実現・近況

鮎河小閉校式で挨拶



3月18日に母校である鮎河小学校・鮎河保育園の閉校・閉園式が行われ、卒業生とし思い出を語りました。

どの党・会派が市民の願いを届けるのか…

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2018年 3月 25日 第208号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町土山甲78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696